

令和2年9月市議会定例会 一般質問

# 個別質問答弁書

質問第4号

佐藤 清正

議員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	地域医療政策室
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				① 上田看護専門学校の方針については、上田市医師会会員、また、学校関係者等様々な意見がある中で、在り方検討委員会の皆様が熟考の末に出されたものですので、大変重いものと受け止めています。			
(1) 看護従事者の育成について							
ア 准看護学科の募集停止を含めた上田看護専門学校の方針をどのように捉えているか。							
イ 上田看護専門学校の看護師育成機関としての必要性をどう考えているか。				① 信州上田医療センター附属看護学校を含め、両学校において継続的に看護師等を育成していただくことは、地域の看護人材確保のため必要なことと考えています。			
				② また、上田看護専門学校の学生数減少に伴う、経営の厳しさについては以前から聞いておりましたので、同校の必要性を考慮し、今年度から運営費に対する補助金を増額しています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	地域医療政策室
質問要旨				答 弁			
ウ 上田看護専門学校の存続について、上田市医師会や県とどのような協議を行ってきたか。また、今後の同校の在り方について、どのように対応する考えか。				① 上田看護専門学校の存続の可否については、運営主体でない上田市が意見を申し上げる立場にはありませんので、上田市医師会としてどのような結論を出されるか注視してきました。			
				② このような中、上田看護専門学校の存続に向けた今後の方向性が今年度になって出されましたので、7月に上田市医師会長、理事、学校関係者の皆様方と市理事者、関係部長との意見交換を行いました。			
				③ なお、県との協議については、市では行っておりませんが、運営主体である上田市医師会が同校存続のために協議をされたと聞いています。			
				④ 同校が存続する場合の今後の市の対応については、これまでと同様に財政支援が必要であると基本的には考えますが、将来的な財政負担も考慮する必要があることから、新たな学校としての運営方針、他市の同様事例の状況や支援内容等も踏まえるとともに、県、関係団体等とも充分協議、調整を行いながら検			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	地域医療政策室
質問要旨				答 弁			
				<p>討していきます。</p>			
<p>エ 上田地域の持続可能な看護師育成機関の在り方をどう考えるか。また、上田地域での4年生大学での看護系学部の必要性についてどう考えるか。</p>				<p>① 上田市を含む上小医療圏は、人口10万人当たりの看護師数が全国平均や県平均より少ないことから、この地域で従事していただく看護師を確保することは重要な施策の一つとなっています。</p> <p>② そのような中、これまで看護師等を育成し、貴重な看護職を輩出していただいている上田看護専門学校の存在は大変大きなものです。そのため、同校が定員を充足し、安定した運営を行いながら存続していくことは当市にとって、また、地域の医療体制にとっても望まれることです。</p> <p>③ また、看護師を目指す方にとって、地域に育成機関が存在することは大変意義がありますが、県内他地域において4年生大学が複数設置されている状況や、学生の大学志向の高まりから、看護師を目指す皆さんが他地域に流出し、上田看護専門学校の定員を充足することが難しくなっていくことも予想されます。</p>			



上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				① 新型コロナウイルスの感染が上田市内でも拡大しており、保育所等を利用する保護者の皆様には大変ご心配をお掛けしています。そのような中で、保育所等の運営にあたっては、各園で細心の注意を払いながら日々感染防止に努めているところです。			
(2) 保育所の運営計画と感染症対策について							
ア 新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、保育所等の感染症対策事業の実施状況はどうか。また登園自粛の状況はどうか。							
				② これまでの保育所等における感染症対策事業の実施状況ですが、入手が困難となっていますアルコールの手指消毒液は、国の優先供給ルートを活用し、定期的に購入できており、必要量を各園に配布しています。玩具をはじめ、子ども達が触れるものなどの消毒には、次亜塩素酸水などを使い、これまで以上に入念に除菌作業を行っています。			
				③ また、職員や子ども用のマスクも、今後マスクが不足した場合に備えて、購入を進めているところであり、今後は、除菌効果の高い空気清浄機や、子どもが対面にならず、安全に給食を食べられるように、机の購入なども予定しています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
				④ 登園の自粛については、3月2日から始まりました市内の小中学校の臨時休業に合わせて、保育所等の登園を慎重に考えていただくよう協力を求め、4月9日から5月末までの期間については、可能な限り登園を自粛していただくよう保護者の皆様に協力をお願いしました。			
				⑤ この期間中、ほぼ全ての家庭において、少なくとも1日以上、家庭での保育に協力をいただき、大変ありがたく思っています。中には、登園率が2割程度の日があった園もあり、私立保育園等も含めての実績になりますが、5割程度の方が、開所日の半分以上の日において登園自粛に協力いただきました。			
				⑥ 6月の小中学校再開後は、通常どおり皆さんに登園いただいておりますが、風邪症状がある場合等については、登園を控えていただいております。			
				⑦ なお、自粛に伴う保育料や副食費は、日割り計算による減額を行い、減額分の保育料等については、7月から8月にかけて還付等の処理をすべて終えています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
イ 上田市保育園等運営計画の位置づけはどうか。計画策定以降、国では制度改正が度々行われてきたが、計画の見直しを行わなかった理由は何か。計画の見直しや新たな運営指針を策定すべきと考えるが、見解はどうか。				<p>① 「上田市保育園等運営計画」については、子育て支援の充実や仕事と子育ての両立支援を推進するため、平成20年10月に設置された、保護者代表、有識者等で構成された「上田市保育検討委員会」からの提言を踏まえ、保育園運営のあり方について方向性を示した計画で、平成23年3月に策定しました。</p> <p>② その後、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立したことにより、市町村において「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられました。</p> <p>この計画は、これまでの「次世代育成支援対策推進法」に基づく計画等を一体化した「子どもに関する総合的な計画」として位置づけられたことから、子ども・子育て支援新制度以後は、この計画を中心に、子ども・子育て支援法第77条に基づき設置された「子ども・子育て会議」により、子育て支援策のほか、保育行政全般についても審議が行われるようになっていきます。</p> <p>③ また、「上田市保育園等運営計画」における、老朽化の状況及び建替えの必</p>			



上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
				<p>要性及び公立保育園等の適正配置に係る部分は、「上田市子ども・子育て支援事業計画」において具体的な内容が示されていないことから、その部分を補完するものとして、平成30年12月に「上田市保育施設整備計画」を策定しました。</p> <p>この計画では、現在の保育施設の状況を改めて把握するとともに、今後の保育施設整備及び統廃合の方向性や考え方を示したところです。</p>			
				<p>④ その後、令和元年度末には「上田市子ども・子育て支援事業計画」は計画期間の終期を迎え、現在は、令和元年度に策定しました令和2年度から令和6年度を計画期間とする「第2次上田市子ども・子育て支援事業計画」に移行しています。</p>			
				<p>⑤ 「上田市保育園等運営計画」は、計画の終期を定めていませんが、当時の「上田市保育検討委員会」の提言に対する計画として、その後の「子ども・子育て支援事業計画」及び「上田市保育施設整備計画」に引継がれてきていますので、</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
				必要な計画の見直しについては、「子ども・子育て会議」を通じて見直していきたいと考えています。			
ウ 公立保育園・幼稚園の認定こども園化についての考えはどうか。				① 上田市内の認定こども園は、現在7園ありますが、いずれも私立の園となりますので、公立の認定こども園はありません。			
				② 認定こども園は、保護者が働いている、いないにかかわらず就学前児童を受け入れて、教育・保育を一体的に実施する施設として、全国的にもニーズが高まっています。			
				平成25年当時、長野県内の認定こども園は11園だったのに対し、令和元年には、77園にまで増え、このうち公立園は26園となっています。			
				③ しかし、認定こども園は、保育園と比較すると、職員の資格や学級編成等の認定基準に違いがあり、また、近隣地域の私立幼稚園・保育園との競合も考えられますので、公立園の認定こども園化は、園の実情や地域の状況を踏まえな			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
				がら慎重に検討する必要があると考えています。			
				④ 現在、認定こども園化を検討している公立園は、ちぐさ幼稚園1園です。 ちぐさ幼稚園は、これまで地域の子育て支援として、2歳児から入園を可能としていました。			
				幼児教育・保育の無償化制度が開始されたことに伴い、2歳児は保育が必要なこどもとして園に保育機能を追加する必要性が生じたことから、昨年度より、認定こども園化について協議を進めています。			
				今後も、関係する皆様に、認定こども園について詳しく説明していくとともに、現在の利用者にできる限り不利益が生じないように進めていきたいと考えています。			
エ 新型コロナウイルスの感染が拡大する現状において、上田市保育園等運営計画に定める基幹保育園等の設置に関する位置づけはど				① 平成21年度に流行した、新型インフルエンザ発症時の保育園の対応としては、休園措置等の基準を設けるとともに、市内を上田地域の千曲川右岸地区、左岸地区、丸子・武石地区、真田地区の4地区に分け、基幹保育園として、			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	4	号	質問議員	佐藤 清正	議員	担当課	保育課
質問要旨				答 弁			
うか。				それぞれ1園を指定しました。			
				この基準の中では、休園した場合であっても、保育が必要な場合は当該保育園で受入を実施し、地区内の全園が休園となった場合に、基幹となる保育園で児童を受け入れるとしたものです。			
				② 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全国的に見ますと、保育士等の感染も多く確認されていますが、園内で感染者が発生した場合は、少なくともその園は一時的に臨時休園の措置が必要となります。			
				③ この場合、医療従事者や社会の機能を維持するために就業を継続することが必要な者、ひとり親家庭などで仕事を休むことが困難な者の子ども等の保育が必要な場合の対応として、代替保育の提供が必要であると考えています。			
				④ 基幹保育園等の考え方については、現在も基本的には同様となります。 新型コロナウイルス感染症については、感染の状況等に応じて個別に対応方			

